

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	パルいずみ		
2 指定管理者	社会福祉法人緑仙会		
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 3,276人(前年度比 109.38%) 令和3年度 2,995人(前年度比 94.69%) 令和2年度 3,163人(前年度比 93.77%)		
	《事業》 ・就労移行支援 ・就労継続支援B型		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 48,798千円 (51,438千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 18,656千円 (17,050千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・令和5年2月に実施した利用者アンケートは(23人/25人(92.0%))、施設の利用に関し、満足又は大変満足が68%、普通が27%、不満又は大変不満が5%という結果であった。		

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた管理運営が適切になされている。 就労移行支援及び就労継続支援B型事業のサービスの提供に意欲的に取り組んでいる。 退所者に対しても、就労後の職場定着支援として、事業所訪問や電話連絡といったアフターフォローに努めている。	45/45
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間での情報共有も図られている。また、経理職員についても担当職員を定めることで、適切に書類を作成している。 利用者への訓練や指導の質の向上を図るため、個人情報の管理に配慮しつつ職員間での情報交換や情報共有を目的とした各種会議を開催している。また、事故や災害に備えた研修を行うとともに、マニュアルを作成し緊急時対応のための体制も適切にとられている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	施設・設備の保全や備品管理については、委託仕様書に沿った適切な管理・取り扱いがなされている。また、施設内の清掃についても、定期的にしつかりと行われており、利用者が衛生的かつ快適に利用できる状態にある。	24/24
IV サービスの質の向上	施設職員の資質の向上や意識啓発のため、定期会議による職員間での情報共有の取り組みを行っている。 サービス水準の確保のため、事務フローマニュアルを適切に作成している。 ホームページでの情報提供や施設のパンフレット作成等を随時見直し、適切な利用情報の提供に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	就労移行支援事業においては「就労チェックリスト」、就労継続支援B型事業においては「アセスメントシート」をそれぞれ事業所独自のものを作成し、利用者の支援に活用している。 また、工賃目標の設定、工賃向上に向けた利用者とのグループワークの実施、就労移行支援プログラムや職場開拓、工賃向上へに向けた自主製品の商品開発や販路拡大のための営業活動等に積極的に取り組んでいる。	12/12

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人緑仙会）による自己評価》
<p>パルいずみは、指定管理者管理業務協定書及び仕様書に基づく適正かつ円滑な管理業務に努めるとともに、当法人の「第四次中期経営計画(R4～R8)」に則して策定した「令和4年度パルいずみ事業計画」に基づき事業を実施した。</p> <p>公の施設としての公益的使命を踏まえ、丁寧な対応を要する障害者を積極的に受け入れることを基本とし、利用者一人ひとりが安心して利用し、その目標や希望の達成に向けて活動できるようきめ細かな支援に努めた。</p> <p>就労移行支援事業においては、個々の利用者の状態に合わせた事業所内における基礎訓練プログラムを確実に実施し、職場見学や実習などの事業所外プログラムを提供するなど、就労に向けた支援を進めた。また、令和3年度に就労した者に対し職場定着に向けた支援を継続しており、稼働状況が改善するなど支援の効果が表れてきている。</p> <p>就労継続支援B型事業に関しては、利用者の個々の状況に応じた作業内容及び作業方法を提供し、1日2回の最寄り地下鉄駅間の送迎を行うなど利用者が安心して利用できる環境づくりに継続して取り組んだ。また、PCの整備を行い、データ入力作業等の受注につなげられるよう環境づくりを進めた。作業収入に関しては、平均工賃月額は前年度を下回ったが、概ね半年並みの下請け作業による収入の確保と自主製品事業の増収につなげることが出来た。</p> <p>地域における取組として、各教育機関との連携の下で看護師及び精神保健福祉士等の専門職養成に係る実習の受け入れを積極的に行ったほか、近隣の地域包括支援センターと連携し、こころの健康に関する講話等を実施し、啓発活動にも取り組んだ。</p> <p>□</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和4年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われていた。</p> <p>就労移行支援事業においては、利用者の雇用につながるよう基礎訓練及び講義等の事業所内プログラムに加え、個々の状況や希望に沿った労働条件の絞り込みを行い、職場見学及び実習等の事業所外プログラムを提供した結果、施設からの一般就労者を輩出した点は評価できる。</p> <p>就労継続支援B型事業においては、利用者の個々の状態に応じた作業内容及び作業方法を提供したほか、朝・夕の送迎、利用者の体調等に合わせた送迎の実施等により、安心して活動できるよう支援を行っている点は評価できる。また、各月の生産活動収支と利用者の総労働時間から時給単価を毎月変動させたうえで施設内で周知し、モチベーションアップにつなげていること、県共同受注窓口(みやぎセルフ協働受注センター)を介して、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)を活用し企業等から受注したこと、「令和4年度障害福祉施設の原油価格・物価高騰緊急対策投資促進事業補助金」を活用してパソコン5台を導入し、データ入力作業の受注量の増加に繋がったこと、自主製品事業における収入が増加した点は評価できる。</p> <p>加えて、地域における取組みとして、地域の福祉・医療関係者で構成するネットワークに参加し、情報交換に努めているほか、地域関係機関と連携し、精神障害者への理解推進を図るために地域住民や近隣グループホームが集う会で講演を実施している。また、専門機関と連携しながら実習生の受け入れを行い、専門職養成に積極的に協力している。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課): 健康福祉局障害福祉部障害企画課